

受領No.1497

持続可能な公衆衛生運営を視野に入れた集約型都市政策下における部門計画間評価に関する研究

代表研究者 松川 寿也 長岡技術科学大学 准教授

Study on assessment of sectoral plans to consider sustainable public health management under the Compact City Policy

Representative Toshiya MATSUKAWA, Nagaoka University of Technology, Associate Professor



研究概要

少子高齢化、財政悪化等の地方都市が抱える喫緊の課題解決に向けて、多くの都市が立地適正化計画制度等による誘導施策を活用した集約型都市構造を指向する都市計画を展開している。同時に、いくつかの地方都市では、例えば人口減少を見据えて下水道整備計画の見直しにより公共下水道整備計画区域を狭めるなど、選択と集中による効率的かつ持続可能な行政運営への転換を図る都市もある。これら都市計画部門・社会資本整備計画部門間での両者の取り組みは、集約型都市政策を推進する上で評価されるべきだが、両部門計画間の整合性や一貫性が疑問視される。

本研究では、社会資本整備に関する計画の中でも基礎自治体が主体的に計画、整備、そして管理運営する公衆衛生事業に着目し、我が国の集約型都市政策に代表される立地適正化計画制度との関係性を分析評価する。これにより、集約型都市政策下での持続可能な公衆衛生の実現に資する制度設計のあり方を検討、提案する。